



横浜国立大学 (神奈川県) YNU

緑と国際性豊かなキャンパスで日本語と日本学を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

横浜国立大学 (YNU) は、横浜師範学校(1876年設置)、神奈川県立実業補習学校教員養成所(1920年設置)、横浜高等商業学校(1923年設置)及び横浜高等工業学校(1920年設置)を前身として1949年に誕生しました。

YNUは、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、21世紀における世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねています。



学 部(5) : 教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部

大学院(6) : 教育学研究科、国際社会科学府、理工学府、環境情報学府、都市イノベーション学府、先進実践学環

学 生 数 (2021年5月1日現在) : 学部生7,260名、大学院生2,277名
常勤教職員数 (2021年5月1日現在) : 教員542名、職員300名

② 国際交流の実績

交流協定締結校数(2021年5月1日現在) : 43カ国・地域
145大学・機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数(5月1日現在)及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2021年 : 留学生836名-日研生1名 (大使館推薦1名、大学推薦0名)
2020年 : 留学生890名-日研生4名 (大使館推薦3名、大学推薦1名)
2019年 : 留学生991名-日研生2名 (大使館推薦1名、大学推薦1名)

本学の全学生のうち、留学生が占める割合は約10%と大変高い比率となっています。日本語・日本文化研修留学生の受入れは2014年に開始しました。

④ 地域の特徴

横浜国立大学の学部・大学院はすべて横浜市にある常盤台キャンパスに集約されています。

横浜は東京から電車で30分のところに位置し、人口370万人を誇る日本第二の都市です。200年以上にわたる江戸幕府の鎖国政策が終わり、世界に開かれた港が作られたのが横浜でした。したがって日本の近代化・国際化は横浜から始まったと言えます。現在は異国情緒のあるオシャレな街として、若者を中心に人気の観光スポットになっています。また、日本初の幕府があった古都鎌倉からも近く、非常に魅力的な立地です。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

充実した日本語プログラムで、日本語力を高め、世界各国から集まる留学生及び日本人学生とともに日本学関連科目を学び、少人数のゼミで自分の研究テーマを深めることができます。

③ 受入定員

5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

以下の全ての要件を満たしている者を対象とします。

- 日本語・日本文化に強い関心を持ち、継続的に学習している者
- 「日本語能力試験」N2以上または同等の日本語能力を有する者
- 在籍大学における学業成績が上位の者



⑤ 達成目標

・達成目標は以下のとおりです。

- 研究分野において、質の高い成果を発信できる知見と日本語力を得ること。
- 日本人学生及び地域コミュニティとの交流を通じて日本の理解を深めること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2022年9月下旬～2023年8月中旬

在籍期間：2022年10月1日～2023年8月31日

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月～2023年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日

10月 秋学期開講、

オリエンテーション、観月の会

11月 ホームステイ、常盤祭

2月 秋学期修了

4月 春学期開講、オリエンテーション

5月 清陵祭

6月 ホームステイ

8月 春学期修了・修了式

8月中旬 帰国



⑨ コースの修了要件

必須科目2単位を含む、学期毎12単位以上取得
成績証明書の発行の可否：可

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

研究と実践活動を重視しています。研究は「日本学プロジェクト」で各自の関心に沿って、テーマの絞り方や文献検索、データの収集から、研究レポート・ポスターの作成に至るまで、毎週のゼミを通じて、少しずつ完成させていきます。日本語・日本事情科目も多数そろえ、日本語のレベルに応じ、学部科目や英語科目も履修できます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目・内容

日本学プロジェクト（週1コマ90分）――1年間を通して、日本学に関する研究レポートを完成させます。

http://www.isc.ynu.ac.jp/about/program/japan_studies_project/

II) 選択科目・内容

日本語レベル、英語レベルに応じて、日本語・日本事情科目（アカデミック・ライティング、経済記事の読み方、待遇表現、神奈川学、異文化コミュニケーション、震災と復興など）及び英語による学部の授業（文学、言語、経済、経営関連科目）を交換留学生と一緒に履修します。

<http://www.isc.ynu.ac.jp/study/>

<http://www.isc.ynu.ac.jp/english/about/program/joy/index>

研究テーマ及び日本語レベルによっては学部の授業及びゼミに参加できる場合があります。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

「日本の企業システム」
三井ボランティアネットワーク事業団のメンバーが豊富な実体験を元に、日本企業を多様な角度から紹介します。プログラム担当教員は三井ボランティアネットワーク事業団横浜国大部会と連携の元、この科目に関連する工場見学会に加え、座禅会、着付け体験等の文化体験イベントを実施しています。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

学部のゼミ、全学教育科目等で日本人学生と共に学ぶ機会があります。修了発表会は日本人学生と共に実施する予定です。





⑪ 指導体制

プログラム担当教員

小川誉子美（国際戦略推進機構教授）

長谷川健治（国際戦略推進機構准教授）

その他サポート

●留学生オリエンテーション

学期のはじめに新入生に対してオリエンテーションを行っています。留学生生活に必要なこと、日本語学習に関すること、留学生向けの事務手続き等について説明します。

●チューター制度

必要に応じて日本人学生（場合によっては先輩留学生）がチューターとして留学生の手助けをします。日本語や専門の勉強に関する手伝いの他、生活上の相談にも乗ります。

●ホームステイの案内

国際教育センターでは、例年6月と11月に1泊2日のホームステイプログラムを実施しています。



■ 宿舎

大学の宿舎への入寮を希望する日本語・日本文化研修留学生は、常盤台インターナショナルレジデンス（シェアタイプ：8人1組でキッチンや浴室・トイレを共有する個室付きのシェアユニットタイプ）に優先的に入居することができます。

大学敷地内のため通学時間0分、電車賃もかかりません。

○宿舎数：シェアタイプ（8㎡） 112室

○宿舎費：賃料 32,500円/月

共益金 6,000円/月

水道光熱費 12,000円/月（税別）

入居一時金 50,000円（税別）

○宿舎設備・備品：家具、家電付き



■ 修了生へのフォローアップ

YNUでは約130名の国費外国人留学生在籍しています。修了生が、派遣元大学卒業後に本学への正規留学（国費外国人留学生（研究留学生）を含む）を希望する場合には相談に応じます。これまで、本学修士課程へ進学するケースが複数件ありました。

■ 問合せ先

<担当部署>

横浜国立大学学務部国際教育課

住所 〒240-8501

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

TEL +81-45-339-3176

FAX +81-45-339-3189

E-mail iao@ynu.ac.jp

<ウェブサイト>

横浜国立大学国際教育センターホームページ

<http://www.isc.ynu.ac.jp/>

留学生向け大学案内「Why Study at YNU?」

<https://www.whystudyat.ynu.ac.jp/international/>

